

ニュース・リリース

2010年5月20日

アライアンス・バーンスタイン「日本ストラテジック・バリュース株式運用」が アジア・インベスター誌の日本株部門最優秀賞を受賞

【東京 - 2010年5月20日】 - アライアンス・バーンスタイン*の「日本ストラテジック・バリュース株式運用」が、アジア・インベスター誌の「インベストメント・パフォーマンス賞2010」において日本株部門最優秀賞を受賞しました。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

同運用が2009年に市場を大きくアウトパフォーマンスしたことに加え、2002年の設定来で見ても大幅な超過収益を獲得してきた実績等が評価されました。

アジア・インベスター誌 (<http://www.asianinvestor.net/>) は、香港を拠点とする、アジア地域の資産運用に関する専門誌です。「インベストメント・パフォーマンス賞」は、年金コンサルタント大手のマーサー社とタワーズ・ワトソン社のデータに基づき選出された各部門の最終候補に対して同誌が定量・定性両面から評価し、選定したものです。

「日本ストラテジック・バリュース株式運用」（最高投資責任者：緒方克明）は、本来の収益力と比べて株価が過小評価された銘柄をリサーチで発掘することにより、投資家に長期にわたり超過収益を提供することを目指した運用サービスです。日本の企業や市場に関する深い知識に加え、グローバルな視点とリサーチ体制を活かすことにより、確信度の高いバリュース銘柄をボトムアップで選定しています。現在、日本を含む世界各国の年金基金等の機関投資家に採用されています。

アライアンス・バーンスタインについて

アライアンス・バーンスタインは、世界各国において、機関投資家や個人投資家、個人富裕層に対して、高品質のリサーチと広い範囲にわたる資産運用サービスを提供する世界有数の資産運用会社です。運用プロフェッショナル500名以上（2010年3月31日現在）を擁し、様々な資産運用サービスを、子会社や合弁事業を通じて世界20カ国以上の市場で提供しています。

2010年3月31日現在、アライアンス・バーンスタイン・ホールディング・エル・ピーはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの持分の約36.6%を保有しています。また、アクサが、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの持分（ゼネラル・パートナーシップ持分を含む）の約62.3%を保有しています。

アライアンス・バーンスタイン株式会社について

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、実質親会社で米国ニューヨークにおいてグローバルな資産運用業務を展開しているアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの日本拠点です。1986年の拠点開設以来、個人投資家や機関投資家向けに投資信託や年金運用などの投資サービスを提供しています。2010年3月31日時点の運用資産総額は約3兆201億円（海外顧客残高を含む）です。

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第303号

加入協会：社団法人投資信託協会／社団法人日本証券投資顧問業協会

当運用商品は、国内の株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、パフォーマンスは変動し投資元本を割り込むことがあります。したがって元金および利回りが保証されているものではありません。当運用が投資した資産の価値の減少を含むリスクは、当運用商品の受益者に帰属します。パフォーマンスの主な変動要因は、以下の通りです。

- 株価変動リスク: 経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。
- 流動性リスク: 市場規模や取引量が限られる場合などに、機動的に金融商品等の取引ができない可能性があります。また、保有する金融商品等が期待された価格で処分できず、損失を被るリスクがあります。
- 信用リスク: 投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。
- 他のベビーファンドの一部解約に伴う基準価額変動のリスク(私募投信の場合): 同一のマザーファンドを投資対象としている他のベビーファンドでの一部解約実行請求に伴い、当該マザーファンドの一部解約が実行された場合、マザーファンドで保有する金融商品等が期待された価格で処分できず、当運用商品のパフォーマンスに影響することがあります。

手数料、報酬その他のお客様が負担する対価は下記の通りです。

<投資顧問報酬>

時価で評価した口座の資産に対して以下の料率の投資顧問料率(年率税込み)をご提案させていただきます

日本ストラテジック・バリュー株式運用の場合

	直接投資の場合	私募投信の場合*
最初の25億円部分に対して	0.68250%	0.74550%
次の25億円部分に対して	0.52500%	0.58800%
次の50億円部分に対して	0.42000%	0.48300%
次の100億円部分に対して	0.39375%	0.45675%
200億円を超える部分に対して	0.36750%	0.43050%

<手数料および費用>

- 有価証券の取引等に係る手数料: 有価証券またはデリバティブの取引等を行う際に利用するブローカーに支払います
- カストディー・フィー: 外国の有価証券等に投資した場合、当該有価証券等の保管を委託した海外のカストディアンに行うこととなり、その保護預けの費用**をお客様負担していただくことになります
- 議決権行使にかかる費用: 運用財産で保有する株式等に係る議決権の行使を行う場合に、費用***がかかる場合があります
- 投資信託等[†]に投資する場合: 運用報酬、信託財産留保額、偶発後払手数料、委託手数料、カストディー・フィー、議決権行使にかかる費用、監査費用^{††}をお客様に負担していただくことになります

金額またはその上限額を記載することができない手数料等がありますので、合計額またはその上限額の記載をすることができません。

- * 私募投信の場合は、投資顧問料に加え、委託会社および受託・販売会社の信託報酬を含んだ最終報酬率です。
- ** 手数料の計算方法およびレートは各カストディアンにより異なり、また保護預けする有価証券等の保有数量も事前に特定できないことから、金額はその上限額の記載をすることができません。
- *** 議決権の行使にかかる費用は、各国の制度や発行体によって異なり、また議決権の行使を行う株式等の保有数量も事前に特定できないことから、金額またはその上限額の記載をすることができません。
- † 投資信託、投資口もしくは投資法人債または外国投資信託もしくは外国投資証券を指します。
- †† 投資信託等の銘柄により監査がない場合があり、また監査報酬が異なるため、金額またはその上限の記載をすることができません。